

令和6年度 英語科授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・習熟度別少人数指導の特性を活かし、生徒一人一人にきめ細やかな対応をした結果、全学年ともに目標値を超えることができた。基礎的な能力がついてきている。
- ・日頃からペアワークやグループワークを行い、定期的にパフォーマンステストを行ってきた。ペアワークやグループワークでは、生徒同士で助け合いながら、英語を話そうと努力していた。パフォーマンステストでは、ALT と協力し準備を行い、生徒は表現力をつけてきている。
- ・引き続き、全学年において習熟度を考慮し、ほぼ学力に偏りがない少人数クラスを編成し、授業内における自主的な発言や生徒間の英会話をさらに活性化させる。

(2) 課題

- ・各学年、基礎の正答率に対して、活用の正答率が低いので、学習したことを活用することに課題がある。
- ・観点別正答率においては、知識・技能の正答率は目標値を上回っているが、思考・判断・表現が目標値と同じ程度であった。自分の考えや思いを書いたり、話したりすることが課題である。
- ・単語テストなどの小テストを定期的に行い、学習の目標の一つにしているが、取り組みの定着に時間を要している。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	基礎・基本、領域別の正答率は全て目標値を上回っている。ただ、活用や、問題の内容別の英作文や英文の読み取り（聞く）において、目標値を達成することができなかった。		
第2学年	全ての分類・区分において目標値を上回った。全国、区の正答率平均も上回った。	基礎・基本、領域別の正答率は全て目標値を上回っている。問題の内容別の英作文において、目標値を達成することができなかった。	
第3学年	「基礎」については目標値と全国平均を上回った。「聞くこと」「読むこと」の領域においては目	「基礎」「聞く」「読む」領域において目標値を上回った。「書く」「活用」の領域で目標値を下回	目標値は、5ポイント以上、上回ることができた。「書く」ことは区の平均を若干超えられたが、

	標値、区・全国平均を上回った。しかし「活用」「書くこと」については目標値や区・全国平均を下回っている。	っている。また、区平均をほとんどの領域で下回っている。	「聞く」力が特に下回っている。
--	---	-----------------------------	-----------------

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・全体的に目標値を上回っている。 ・アルファベットと音は一致しつつも、大文字と小文字の混同が見られる。	・英語を話したり、聞いたりする意欲は高い。「聞くこと」は区の目標値を上回っている項目が多い。 ・英作文の目標値が大きく下回っているので、書く力を伸ばす必要がある。	・学習に取り組む態度は、目標値を6.3ポイントマイナスではあるが、英語に対する学習意欲は高い。 ・授業時では、主体的に発言し、ペアワークも積極的に取り組んでいる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・全体的に目標値を上回っている。 ・語彙の知識・理解で目標値を下回っていることから、語彙力不足と言える。	・全体的に目標値を上回っているが、英作文や長文読解において中々正答率が上がっていない。 ・授業の中で短い文から書いたり、簡単な長文読解を行ったり必要がある。	・目標値を上回っている ・英語を意欲的に取り組む生徒が多い。 ・授業でも積極的に課題に取り組んでいる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・全体的に目標値を上回っている。特に「聞くこと」については目標値と区・全国平均を上回った問題が多い。 ・文構造や文法事項を意識した問題も目標値を上回った問題が多くある。引き続き復習を意識した授業を行っていく。	・全体的に目標値を下回っている。特に3文以上の英作文が目標値を大きく下回っている。 ・語彙力の向上を図り、書く力を伸ばしていかなければならない。	・目標値を下回っている。 ・授業時の様子から、英語に対する学習意欲は年々増加している様子である。しかし「書くこと」について特に苦手意識がある生徒が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日頃からアルファベットの大文字と小文字を区別するよう指導する。	・帯活動で教師の英語での質問に対し英語で答える活動を行い、即興で英語を話す	・簡単な英会話文を覚え、教師の前で発表し、英語で表現できたという自信をもたせ

・アルファベットの文字と音が一致するよう、英単語の読む練習、英文の音読練習を重点的に行う。 ・定期的な小テストを実施し、基礎基本の定着を図る。 ・定期的リスニング教材に取り組み、リスニング力の定着を図る。	機会を増やす。 ・ペアワークやグループワークを行い、英語を話す環境を設定する。 ・学期に1回スピーチを行い、英語の表現力をつける。	る。 ・定期的な小テストを実施し、家庭学習のペース作りを継続して支援していく。 ・定期テストや学期末の振り返りを通して、授業の振り返り等を行い、学習への意欲を向上させていく。
--	---	---

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ワークシートを活用し、日頃から既習事項の確認を行う。 ・単元末テスト実施し、基礎基本の定着を図る。	・日頃から簡単な長文を読むことで、読解力、速読力を養う。 ・定期的リスニングを行い、リスニング力を向上させる。 ・スピーチやスキットなどパフォーマンステストを学期に1回以上は行い、表現力を向上させる。	・簡単な英会話文を覚え、教師の前で発表し、英語で表現できたという自信をもたせる。 ・日頃から自宅でできる簡単な課題を出し、生徒の家庭学習のペース作りを継続して支援していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1週間に1度はミニプリントで1、2年生の文法事項の復習の時間をとる。 ・教科書の長文読解で1・2年生の既習事項が出てきた際には必ず触れるなど、復習を意識した授業展開にしていく。	・「書く」力を伸ばすために、教科書の文章を読む際には必ずQ&Aを行い、文を書く活動に取り組みさせる。 ・語彙力を伸ばすために、不規則動詞の小テストを学期に1度行い、定着を図る。	・ICT機器を用いた振り返りシートで、毎時間の振り返りを書かせ、何が理解できているかまたは理解できていないかを把握させる時間を設ける。 ・ペアワークを取り入れ、英語を話す楽しさを実感させながら自信につなげていく。